

ミニ開発の抑制を 新条例で検討する

松本 耕治 議員(新生会)

ついでに、景観法やまちづくり法の改正により、市街化再開発や居住環境整備事業を展開し、にぎわいと活力ある市街地の整備に努めていく必要があると記述されている。

今、京田辺市は、このミニ開発のまっただ中にいる。市は、ミニ開発を規制し、整合性あるまちづくりをすべきであると考えられる。

府の資料によれば、ミニ開発により、都市環境・景観が悪化し、生活環境や居住環境の整備都市基盤整備が必要とな

建設部長 まちづくり条例を研究し、整合性のあるまちづくりに努めていきたい。

ポランティアの推進は、社協に頼るだけでなく、市が中心にならなければできない。



松井山手地区のまちなみ(模型)

開発と避難通路問題

市の責任で解決する

市田 博 議員(一新会)

ミニ開発における避難通路の位置づけについて、10年に宅地開発された興戸東垣内地域で15年に突如通路が封鎖される事態が発生し、地域住民全体的に不安を感じながら生活しなければならぬ状況にある。調査した結果は市の指導に問題と疑問を感じた。安全で安心できる住環境は市民の権利と考えるが今後の



宅地開発された興戸東垣内地域

緊急避難場所的措置も併せて解決すべき問題と認識。不要化した用水池について、長年農業用水と

民間委託の中止を 研究し、慎重に対応する

学校給食 食料 調理 調査



楽しそうに学校給食を食べる子どもたち(田辺小学校)

学校給食は、献立の作成から材料の購入、調理、配膳、食事すべての過程が、教育的学習活動

児童館 市外の孫も利用を 保護者が市民なら可能

水野 恭子 議員(共産党)

大住ふれあいセンター児童館の利用について、市民が、他市の孫を連れて遊びに行く利用出来ないなどの問題点をどう解決するのか。



交流ホールで遊ぶ親子(大住児童館)

望があれば応じる。団体交流会リーダー養成は関係課と連携を図り、育成したい。

増富 理津子 議員(共産党)

実施率は74%であり、文科省の通達も、人生で最大の発育期である中学校での給食は、地域食生活の啓もうにも役立つと重視している。